

小中一貫教育になって児童生徒の 交流活動が豊かに展開



◆小学部・中学部の 図書委員会の 読み聞かせ

中学部の図書委員会が単独で、また、小学部と中学部の図書委員会が合同で小学部低学年の教室で絵本や紙芝居の読み聞かせを実施。子ども達は瞳を輝かせ、笑顔でお話の世界を楽しんでいます。お礼の言葉をもらった中学生も笑顔で教室に戻っていきます。先生が読み聞かせを行う以上の効果です。



◆トイレ磨きは 心磨き活動

多久市内学校の「心の教育」の一つとしてしっかりと定着した「トイレ磨きは心磨き活動」は、中学生が小学生をお世話し、指導する活動へと発展しました。小学生にとっても中学生にとっても心を一つにしてトイレを磨き上げる協働作業を通して、より豊かな縦の関係が形成されています。



◆小学部・中学部 リーダー会

学校生活をより豊かに、充実した毎日にしていくために、定期的に小学部と中学部の各委員会リーダー等が集まり、テーマを決めて、活動を振り返ったり活動計画を立てたりしています。「学校を自分たちの手で、より良い形に作り上げよう」「小学生と中学生がもっと力を合わせよう」等の活動意欲が高まっています。



◆多久市「土曜開校」

○ねらい
 ①授業時数の増加、および授業内容を工夫し、学力向上を目指します。
 ②授業参観を設定するなどして、保護者や地域のみなさんに、児童生徒の学習・生活について、理解を深めてもらいます。
 ③外部人材を登用したり、親子活動を設定したりして、体験活動等を実施します。

12月5日に、市内全小学校で「土曜開校」を実施しました。代休を取らない学校教育の実施です。

平成28年度は、学期に1回程度の実施に向け、現在、計画を進めています。

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-12227

多久の子どもは 論語をさえずる！

～第21回多久市
論語カルタ大会～



11月23日に多久市論語カルタ大会(多久市教育委員会主催)を、幼稚園・保育園児から一般参加者まで、143人が参加し、中央校中学部体育館で行いました。

大会では、太鼓の合図で上の句が読み上げられると、参加者は、上の句が読み終わらないうちに「はい！」と威勢の良い掛け声で次々とカルタを取っていました。大会の結果は次のとおりです。

【各学年の優勝者】

- ・幼稚園・保育園 = 山崎 凜央 (こぼと保育園)
- ・小学1年 = 溝口 祥生 (中央)
- ・小学2年 = 広橋 華恵 (東部)
- ・小学3年 = 野田 祐真 (東部)
- ・小学4年 = 中島 遙音 (東部)
- ・小学5年 = 山本 まりあ (西溪)
- ・小学6年 = 北島 瞳 (東部)
- ・中学1年 = 田中 優樹 (西溪)
- ・中学2年 = 鶴 菜那恵 (西溪)
- ・中学3年 = 鶴 明日香 (西溪)
- ・高校・一般 = 梶原 咲 (佐賀女子高校)